

# 「ねんきん定期便」 相談窓口・電話対応 Q & A

平成21年3月  
社会保険庁

1981

1981年3月

A 29 21 26 11 24 12

1981年3月

29 21 26 11 24 12

# 目 次

## 第1章 「ねんきん定期便」の概要

- (問 1) 「ねんきん定期便」とは何ですか。 ..... 1
- (問 2) 「ねんきん定期便」は、いつ、どのような人に送られますか。 ..... 2
- (問 3) 私は4月1日生まれです。「ねんきん定期便」は誕生月に送られると聞きましたが、まだ届きません。なぜですか。 ..... 2
- (問 4) 私は、現在海外に居住していますが、「ねんきん定期便」は送られますか。 ..... 3
- (問 5) 配偶者からの暴力(DV)の関係で、住民票はそのままに主人と別居しています。「ねんきん定期便」が送られると、夫に今の勤務先が分かってしまいます。どうしたらいいでしょうか。 ..... 3
- (問 6) 「ねんきん定期便」は重要な個人情報なので、書留や配達証明で送るべきではないですか。 ..... 4
- (問 7) 私と同じ誕生月の同僚に「ねんきん定期便」が届きましたが、私にはまだ届きません。どうしてですか。 ..... 4
- (問 8) 「ねんきん定期便」が届きません。最近引っ越しをして、住所の変更を手続きしましたが、どうなっているのでしょうか。 ..... 5
- (問 9) 私の(または家族の)ではない「ねんきん定期便」が届きました。どうしたらいいのでしょうか。 ..... 6
- (問 10) 「ねんきん定期便」が2通届いたが、どうしてですか。 ..... 6
- (問 11) 主人に届いた「ねんきん定期便」(50歳以上の方用)と、私に届いた「ねんきん定期便」(50歳未満の方用)の様式が違います。何が違うのですか。 ..... 7
- (問 12) 「共済組合記録の期間を含んでいない」とありますが、それはなぜですか。 ..... 7
- (問 13) 「被保険者記録を調査中の分は反映されていない」とありますが、それはいつ反映されるのですか。 ..... 8
- (問 14) 「ねんきん特別便」での調査の回答もまだなのに、中途半端な「ねんきん定期便」を送ってくるのは無駄ではないですか。 ..... 8

## 第Ⅱ章 手続き等

- (問15) 何か手続きは必要ですか。 ..... 9
- (問16) もれや間違いがあると回答した場合、その後の結果はどのように分かるのですか。 ..... 9
- (問17) 「ねんきん定期便」に記載されている氏名、生年月日、住所が誤っているが、どうしたらいいのか。 ..... 10
- (問18) 記録の調査にはどの位の期間がかかりますか。 ..... 11
- (問19) 「年金加入記録回答票」は、必ず提出しなければいけませんか。 ..... 11
- (問20) 「ねんきん定期便」を汚損、毀損、紛失したので、再度送って欲しい。 ..... 12
- (問21) 私にはこのようなお知らせは必要ないので、今後送らないようにしてほしい。 ..... 12
- (問22) 加入記録の記載もれがあり、「年金加入記録回答票」に書ききれない場合にはどうすればいいですか。 ..... 13
- (問23) 「年金加入記録回答票」に記入した内容について、何か証明するものや証拠書類のコピーなどを添付する必要がありますか。 ..... 13
- (問24) 「年金加入記録回答票」に氏名を書かないで投函しました。どうすればいいですか。 ..... 14
- (問25) 「年金加入記録回答票」に職歴を書かないで投函しました。どうすればいいですか。 ..... 14

## 第Ⅲ章 記載内容

### 第1節 これまでの年金加入期間

- (問26) 「年金加入履歴」にある加入月数については、いつ時点の月数ですか。 ..... 15
- (問27) 「未納期間除く」とありますが、どこを見れば未納期間が分かりますか。 ..... 15

### 第2節 これまでの加入実績に応じた年金額

- (問28) 「老齢基礎年金」と「老齢厚生年金」の違いは何ですか。 ..... 16
- (問29) 年金は、どのように計算されているのですか。 ..... 16

(問30) ここに表示されている年金額は、将来必ず受け取ることができる金額なので すか。 .....	17
(問31) ここに記載されている年金は、何歳から受給できるのですか。 .....	17
(問32) ここに記載されている年金額が正しいのか自分で計算したいので、詳細な計 算内訳を送ってもらえないでしょうか。 .....	18
(問33) 「ねんきん定期便」が届きましたが、「老齢年金の見込額」に記載がありません。 なぜですか。どうしたら分かりますか。 .....	18
 <b>第3節 これまでの保険料納付額</b>	
(問34) 国民年金の保険料はどのように計算しているのですか。 .....	19
(問35) 国民年金の累計額に付加保険料を含んでいますか。 .....	19
(問36) 国民年金の累計額は、前納した保険料は割引後の金額で計算されているので すか。 .....	20
(問37) 国民年金の累計額は、追納した割増後の金額で計算されていますか。 .....	20
(問38) 厚生年金の保険料は、どのように計算されているのですか。 .....	21
(問39) 記載されている厚生年金保険の保険料には、事業主負担分も含んでいるので すか。 .....	21
(問40) 厚生年金保険の第四種被保険者（または高齢任意加入被保険者）の保険料は 全額本人負担分として計算しているのですか。 .....	22
(問41) 厚生年金保険料の計算過程で1円未満の端数が生じている場合、どのように なっているのですか。 .....	22
(問42) 厚生年金保険の保険料はボーナスからも徴収されていますが、それもこの金 額の中に含まれているのですか。 .....	23
(問43) 平成15年以前もボーナスから保険料を徴収されていたと思いますが、それ は何故含まれていないのですか。 .....	23
(問44) ここに表示されている保険料額が正しいか計算したいので、詳細な計算内訳 を送ってもらえないでしょうか。 .....	24

#### 第Ⅳ章 年金加入履歴

- (問 4 5) (空いている期間があります。)と記載されていますが、これは何ですか。どうすればいいのですか。……………2 5
- (問 4 6) ③欄に「厚生年金保険」「船員保険」と表示されています。何故ですか。また、何か手続きが必要でしょうか。……………2 5
- (問 4 7) 「年金加入履歴」で加入制度が厚生年金保険または船員保険であるもののうち、「③お勤め先の名称等」欄に記載されている事業所名または船舶所有者名がひと文字抜けています。何故ですか。……………2 6
- (問 4 8) 同じ会社に入退社しましたが、「お勤め先の名称等」欄に記載されている事業所名の表記が違います。なぜですか。……………2 6
- (問 4 9) 表示されている勤め先の名称が違います。なぜですか。……………2 7
- (問 5 0) ④資格を取得した年月日に「#」の表示がありますが、この表示は何ですか。……………2 7
- (問 5 1) 加入記録が重複していることがわかっているのだから、最初から補正してから送ってくるべきではないか。……………2 8
- (問 5 2) 厚生年金基金に加入していましたが、「年金加入履歴」に基金加入期間が記載されていません。どうしてですか。……………2 8
- (問 5 3) 代行返上しているはずだが、厚生年金基金加入期間が表示されている。どうしてですか。……………2 9
- (問 5 4) 国民年金基金に加入していましたが、「年金加入履歴」に基金加入期間が記載されていません。どうしてですか。……………2 9
- (問 5 5) 第3号被保険者の年収基準が130万円になったのはいつからですか。それ以前は何万円ですか。……………3 0
- (問 5 6) 備考欄に「脱退手当金」の表示があるのですが、これは何ですか。……………3 0
- (問 5 7) ⑦国民年金欄の納付済等月数の「計」と⑥「加入月数」の国民年金を足した月数が相違していますが、どうしてですか。……………3 1
- (問 5 8) 最近、国民年金の加入手続きを行いました。年金加入記録に記載されていません。どうしてですか。……………3 2

- (問59) 国民年金に加入していた途中で、転居しています。その場合、どのように記載されますか。 ..... 3 2
- (問60) 第三者委員会へ申し立てをしていますが、「ねんきん定期便」が届きました。どういことですか。 ..... 3 3
- (問61) 昔勤務していた会社の名前や期間等を、はっきり覚えていないのですが、「年金加入記録回答票」には、どのように記入したらいいですか ..... 3 3
- (問62) 記載されている記録と、自分が記憶している勤務期間等が相違しているがどうしたらいいですか。 ..... 3 4

## 第V章 標準報酬月額と保険料納付額、国民年金保険料の納付状況

- (問63) 標準報酬月額は、いつどのように決まるのですか。  
(算定基礎及び月額変更) ..... 3 5
- (問64) 標準報酬月額の対象となる報酬に、通勤手当が含まれるのはおかしいのではないですか。 ..... 3 5
- (問65) 会社に勤め始めたときの標準報酬は、どのように決まるのですか。  
(取得時報酬) ..... 3 6
- (問66) 給与体系が歩合制で、毎月の収入が一定ではなかったのですが、標準報酬はそれに連動して変わらないのですか。 ..... 3 6
- (問67) 給与体系がいわゆる「日給月給」で出勤した日数に応じて給与が支払われていましたが、標準報酬はそれに連動して変わらないのですか。 ..... 3 7
- (問68) 納付額には「事業主負担分」も含んでいるのでしょうか。 ..... 3 7
- (問69) 過去の標準報酬(等級表)や保険料率の経緯について知りたいのですが、どのように調べればよいのでしょうか。 ..... 3 8
- (問70) 月別状況の欄外に「※旧3公社共済組合(JR, JT, NTT)及び農林共済組合の統合日以前の保険料納付額はハイフン(ー)で表示されます。」とありますが、統合日はいつですか。また、なぜ納付額がハイフンで表示されるのですか。 ..... 3 8
- (問71) 共済の61年3月以前の月額が同じ額で記載されているのはなぜですか。 ..... 3 9

- (問 7 2) 月別状況に記載されている標準報酬より、もっと多い給与が支払われてましたが間違いではないでしょうか。(標準報酬の上限) ..... 3 9
- (問 7 3) 月別状況に記載されている標準報酬より、もっと少ない給与が支払われてましたが間違いではないでしょうか。(標準報酬の下限) ..... 4 0
- (問 7 4) 標準報酬月額が 9 8, 0 0 0 円と記載されているが、実際は 5 万円ぐらいしかもらっていない。なぜ違うのか。 ..... 4 0
- (問 7 5) 当時の実際の報酬と大幅に相違する場合に回答票を返送することになっていますが、当時給料をいくら支払われていたか記憶にありません。どうすればいいのでしょうか。 ..... 4 1
- (問 7 6) 当時の実際の報酬と大幅に相違する場合に回答票を返送することになっていますが、「大幅」とはどの程度のことを言うのでしょうか。 ..... 4 1
- (問 7 7) 昭和 3 5 年 1 0 月取得となっているのに、国民年金の納付記録が昭和 3 6 年 4 月からしかないのはなぜですか。 ..... 4 2
- (問 7 8) 過去の保険料額や前納額の経緯について教えてくださいませんか。(どのように調べればいいのでしょうか。) ..... 4 2

## 第 VI 章 見込額試算

- (問 7 9) 老齢基礎年金の見込額の計算で、「今後、6 0 歳までの期間(月数)を記入」とありますが、いつからいつまでの月数を書けばいいのですか。 ..... 4 3
- (問 8 0) 老齢基礎年金の見込額の計算で、「今後納付する付加保険料月数を記入」とありますが、いつからいつまでの月数を書けばいいのですか。 ..... 4 3
- (問 8 1) 今までの共済組合員期間が送られてきていないのに、月数を書かせるのは不親切ではないですか。 ..... 4 4
- (問 8 2) 国民年金基金に加入している分については、試算できないのでしょうか。 ..... 4 4
- (問 8 3) これまでの加入実績に応じた年金額の試算が、平成 1 5 年 4 月で分けられているのはなぜですか。 ..... 4 5
- (問 8 4) 「今後、退職時までの間の平均の所得見込み額」は実際想像もつかないのですが、どんな金額を書けばいいのでしょうか。例えば、昨年の年収で書けばいいのでしょうか。 ..... 4 5



- (問 8 5) 「今後、退職時まで勤務される期間(月数)」は何を目途にすれいいのしょうか。例えば、65歳までの月数でしょうか。いつからいつまでの月数を書けばいいのでしょうか。……………46
- (問 8 6) 「生年月日に応じた給付乗率」とは何ですか。生まれた年によって年金の計算に有利・不利があるのでしょうか。……………46
- (問 8 7) 「平均の標準報酬月額」が印刷されていますが、これはどのように計算されているのでしょうか。……………47
- (問 8 8) 厚生年金基金に加入している分については、試算できないのでしょうか。……47
- (問 8 9) 試算した年金見込額は、間違いなく支払われるのでしょうか。……………48

## 第Ⅶ章 その他

### 第1節 定期便について

- (問 9 0) 「ねんきん定期便」とは別のものが同封されていますが、これは何なのしょうか。……………49
- (問 9 1) 視覚障害者のため、「ねんきん定期便」を送ってもらっても読めません。基礎年金番号が分からないのですが、電話で記録の確認ができますか。……………51
- (問 9 2) 当施設に入所している方に、「ねんきん定期便」が届きました。本人は確認できる状態ではないのですがどうしたらいいですか。……………51
- (問 9 3) 聴覚障害者のため、本人が電話することができませんどうしたらいいですか。……………52

### 第2節 コールセンターについて

- (問 9 4) 専用ダイヤルの電話料金は、なぜ無料にしないのですか。(なぜ、フリーダイヤルでないのですか。)……………53
- (問 9 5) 相談対応されているあなたは、どんな立場か。(身分はなにか。)……………53
- (問 9 6) 社会保険庁の職員なのか。……………53
- (問 9 7) なんという会社か。(事業所名称)……………53
- (問 9 8) 正規の職員でないものが、社会保険庁が保有する個人情報を取扱い、年金相談にあたることは、個人情報の保護が守られない。そんな立場の者に私の個人記録を参照する権利があるのか。……………54



(問1)「ねんきん定期便」とは何ですか。

(答)

●年金受給者で現役被保険者の方

「ねんきん定期便」は、これまでの年金加入記録をご確認いただくとともに、年金制度に対するご理解を深めていただくことを目的として、年金加入期間や保険料納付の実績などの年金に関する情報を定期的にお送りするものです。

●50歳以上の方

「ねんきん定期便」は、これまでの年金加入記録をご確認いただくとともに、年金制度に対するご理解を深めていただくことを目的として、年金加入期間や保険料納付の実績、将来受け取る年金額の見込みなどの年金に関する情報を定期的にお送りするものです。

●50歳未満の方

「ねんきん定期便」は、これまでの年金加入記録をご確認いただくとともに、年金制度に対するご理解を深めていただくことを目的として、年金加入期間や保険料納付の実績、加入実績に応じた年金額などの年金に関する情報を定期的にお送りするものです。

※平成21年度は、すべての被保険者の方に共済組合員記録にかかる情報を除いたこれまでの公的年金のすべての加入記録をお届け。

平成22年度以降については、節目(35歳・45歳・58歳の被保険者の方)の年齢の方には公的年金(共済以外)のすべての加入記録を、その他の年齢の方には直近1年間の加入記録をお届け。

(問2)「ねんきん定期便」は、いつ、どのような人に送られますか。

(答)

「ねんきん定期便」は、原則年金制度に加入中の方に、毎年誕生月に送られます。

《参考》 $n$ 月2日～( $n+1$ 月)1日生まれの方を、 $n$ 月に送付

(問3) 私は4月1日生まれです。「ねんきん定期便」は誕生月に送られると聞きましたが、まだ届きません。なぜですか。

(答)

ご説明不足で申し訳ありません。

年齢の計算は誕生日から起算して、翌年の誕生日の前日で満年齢になります。年金の受給に関しても同じ扱いです。

4月1日のお生まれでしたら、3月31日が満年齢に到達する日となるため、3月生まれの方と同じ時期にお送りすることになりますので、その時期までお待ちいただきますようお願いします。

(問4) 私は、現在海外に居住していますが、「ねんきん定期便」は送られますか。

(答)

●第1号被保険者（任意加入者）

国内協力者のご登録をいただいている方には、その方のご住所にお届けすることになります。

国内協力者の登録がなく、海外のご住所で登録いただいている方の場合には、社会保険事務所から海外の住所にお送りすることとしています。

●第3号被保険者

国内協力者のご登録をいただいている方には、その方のご住所にお届けすることになります。

国内協力者の登録がなく、海外のご住所で登録いただいている方の場合には、社会保険事務所から海外の住所にお送りすることとしています。

※上記以外の方

上記以外の海外居住者の方への対応は現在検討中です。

(問5) 配偶者からの暴力（DV）の関係で、住民票はそのままに主人と別居しています。「ねんきん定期便」がそのまま送られると、今の勤務先が分かっしまいます。どうしたらいいでしょうか。

(答)

お住まいの市区町村や配偶者暴力相談支援センター等でご相談いただき、社会保険事務所にその旨お届けいただくことにより、ご住所を現在お住まいの所に変更することができます。また、基礎年金番号も現在のものとは別の番号に変更して管理します。こういった場合、ご本人様以外からのお問い合わせにお答えすることはありませんので、ご安心ください。

(問6) 「ねんきん定期便」は重要な個人情報なので、書留や配達証明で送るべきではないですか。

(答)

「ねんきん定期便」は、すべての被保険者の方に毎年お送りするため、膨大な郵送料がかかります。

社会保険庁では、限られた予算の中で国民の皆さまに最大限サービスを提供できるよう検討した結果、普通郵便でお送りしています。

(問7) 私と同じ誕生月の同僚に「ねんきん定期便」が届きましたが、私にはまだ届きません。どうしてですか。

(答)

※基礎年金番号を聴取し、「ねんきん定期便情報照会」画面を確認する。

○「ねんきん定期便」の事故記録画面しかない場合

必ず、SV確認とし、折り返し電話とすること。

→年金記録の不備(住所未収録、生年月日が非実存日、資格記録の不備)等の理由により「ねんきん定期便」が作成されていないため。

○「ねんきん定期便」の作成履歴がある場合

※「ねんきん特別便情報照会」「基礎年金番号情報照会」画面を確認する。

以下のいずれかに該当する場合は「ねんきん定期便情報照会」画面上、「ねんきん定期便」が作成されていても送付抑止がされていることに留意すること。

1、「ねんきん特別便情報照会」画面のねんきん特別便未送達表示が、「未送達」「調査中」「不明」「死亡疑」「確認1」のいずれかの場合。

2、「ねんきん特別便情報照会」画面の名寄せ記録通知の有無表示が「未送付者5」または「未送付者6」の場合。

3、国民年金被保険者記録上、「不在者」となっている場合。

→(上記の結果、現住所の確認が必要な場合) 問8 参照

(問8)「ねんきん定期便」が届きません。最近引越しをして、住所の変更を手続きしましたが、どうなっているでしょうか。

(答)

WMで、ねんきん定期便情報照会・基礎年金番号情報照会を確認する。

⇒○定期便未送達表示あり、住所変更処理済の場合

お客様の「ねんきん定期便」は、転居等により配達できず、業務センターに戻された状態となっております。住所変更のお届けをいただきましたので、このお電話で再送付を承ることができます。(お客様が送付を希望する場合、再送付の依頼票を起票する。)(2～3ヶ月程度要する))

○定期便未送達表示あり、住所変更処理未済の場合

お客様の「ねんきん定期便」は、転居等により配達できず、業務センターに戻された状態となっております。住所変更の手続きをお願いいたします。再送付をご希望の場合は、お手数ですが住所変更のお届け後にお申し出ください。住所変更の処理後2～3ヶ月でお手元に届きます。また、お申し出がない場合も来年度以降は、変更後のご住所にお送りいたします。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

○画面上、事故記録画面しかない場合

S.V確認とし、折り返し電話の対応とすること。

→年金記録の不備(住所未収録、生年月日が非実存日、資格記録不備)等の理由により「ねんきん定期便」が作成されていないため。

○「ねんきん定期便」の作成履歴がある場合

※「ねんきん特別便」が「未送達」「調査中」となっている場合、画面上「ねんきん定期便」が作成されていても送付抑止がされていることに留意すること。

昨年お送りしました「ねんきん特別便」が未送達ということでお手元に届かなかった方につきましては、今回、ご住所の変更が確認できるまで「ねんきん定期便」の送付を差し控えさせていただいております。住所変更の手続きを行ってくださいますようお願いいたします。お手数をおかけしますが、住所変更のお手続き後に再送付の申し出をお願いいたします。

※但し、「ねんきん特別便」を事業主経由で受け取った方の場合、現住所と登録されている住所が異なっている場合があるため、お客様に現住所を確認し、登録されている住所と異なっている場合には、勤務先に住所変更と手続きをお願いし、住所変更手続き後に再送付の申し出をしていただく。

(問9) 私の(又は家族の)ではない「ねんきん定期便」が届きました。  
どうすればいいですか。

(答)

《開封していない場合》

お手数をおかけして申し訳ございませんが、「誤配」「現在住んでない(引っ越した)」等を封筒に記載いただき、そのままポストに投函ください。

《開封している場合》

お手数をお掛けして申し訳ございません。返送用の封筒をお送りしますので、その封筒で「誤配」「引っ越した」等のメモを同封してご返送いただきますようお願いいたします。(当方が作成したメモ同封か、封筒に「誤配差し戻し」とあらかじめ記入された封筒を送付する。)

(問10) 「ねんきん定期便」が2通届いたが、どうしてですか。

(答)

「ねんきん定期便」は基礎年金番号ごとに作成し、送付することとしています。お客様の場合、基礎年金番号が2つ交付されていることが考えられます。

基礎年金番号は、1人1番号ですので、2つの基礎年金番号を統合する必要があります。お手数をお掛けいたしますが、年金手帳または基礎年金番号通知書及び「ねんきん定期便」(2通)をご持参のうえ、お近くの社会保険事務所で手続きして下さい。

ご本人以外の方(代理人)が来訪される場合は、「委任状」が必要です。



(問 1 1) 主人に届いた「ねんきん定期便」(50歳以上の方用)と、私に届いた「ねんきん定期便」(50歳未満の方用)の様式が異なりますが、何が違うのですか。

(答)

50歳以上の方にお送りする「ねんきん定期便」には、現在の年金への加入の状態が60歳まで継続したものとして算出した老齢年金の見込額を記載しています。50歳未満の方には、これまでの加入実績に応じた老齢年金の額を記載し、見込額についてご自分で試算していただけるように計算式を記載した用紙を付けています。そのため様式が違ってまいります。

(問 1 2) 「共済組合記録の期間を含んでいない」とありますが、それはなぜですか。

(答)

共済組合期間については、平成9年1月以降の記録は、各共済組合との情報交換により社会保険庁で把握していますが、それ以前の記録については現在共済からの情報の提供を受け、皆様の基礎年金番号に統合する作業を進めています。また、情報提供されているすべての期間についても確認作業を行っていますので、確認作業が終了するまでの間は、共済組合員記録を表示しないこととさせていただきます。

(問 1 3) 「被保険者記録を調査中の分は反映されていない」とありますが、それはいつ反映されるのですか。

(答)

お待たせして誠に申し訳ありません。お出しいただいた「年金加入記録照会票」「年金加入記録回答票」については、調査・確認ができましたらその時点で「被保険者記録照会回答票」をお送りします。

ご回答がお手元に届いた以降にお送りする「ねんきん定期便」は、回答を反映したものとなります。

申し訳ありませんが、それまでお待ちいただきますようお願いいたします。

「ねんきん特別便」にいただいた回答については、申し出があった時期や、個々の申し出内容による調査に要する期間が一定でないことから、「ねんきん定期便」に反映されているものと反映されていないものがある。

「ねんきん定期便」では、標準報酬月額等の保険料の納付実績や、年金の見込額など、「ねんきん特別便」ではお知らせできなかった加入履歴を反映した、個々の大切な情報をお知らせすることとしている。

そのため、たとえ「ねんきん特別便」の回答が反映されていないとしても、「ねんきん定期便」は加入者にとっては有意義。

(問 1 4) 「ねんきん特別便」での調査の回答もまだなのに、中途半端な「ねんきん定期便」を送ってくるのは無駄ではないですか。

(答)

「ねんきん特別便」に対するご回答をいただいているにも関わらず、調査結果の回答が遅れていることにつきましては、ご迷惑をおかけし大変申し訳ございません。現在、担当の職員を増員するなど、種々の対策を実施しており、できる限り早くご回答させていただくよう努力しております。

「ねんきん定期便」は、年金見込額や保険料の納付額（被保険者負担分のみ）の他、「ねんきん特別便」ではご案内していない標準報酬月額などの情報についてもお知らせしています。調査結果により変更が生じることもありますが、加入記録以外の情報をご確認いただくという目的でお送りしております。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(問15) 何か手続きは必要ですか。

(答)

送られている「年金加入履歴」や保険料の納付状況に書かれている内容に「もれ」や「誤り」がないかをご確認ください。

○同封の「年金加入記録回答票」が「白」の方

「もれ」や「誤り」がある場合には、同封の「年金加入記録回答票」にご記入ください。「もれ」や「誤り」がない場合には回答の必要はありません。

○同封の「年金加入記録回答票」が「水色」の方

「もれ」や「誤り」がある場合には、同封の「年金加入記録回答票」にその内容を記入しご返送ください。「もれ」や「誤り」がない場合にもお手数ですが、回答票の2の1に「○」を記入して（「訂正なし」として）ご返送ください。

※すでに「ねんきん特別便」などで「もれ」や「誤り」があるとお申し出いただいている期間や、第三者委員会へ申立をいただいている期間については、今回ご回答いただく必要はありません。

(問16) もれや誤りがあると回答した場合、その後の結果はどのように分かるのですか。

(答)

「もれ」や「誤り」があると回答していただいた方については、提出いただいた「年金加入記録回答票」の内容に基づき調査を行い、必ず文書で回答いたします。調査後の記録整備・送付準備を含めると、調査結果がお手元に届くまで、場合によっては相当の期間(※)が必要となりますが、ご了承ください。

※ 問18参照

(問 17) 「ねんきん定期便」に記載されている氏名、生年月日、住所が誤っているがどうしたらいいのか。

(答)

氏名、生年月日、住所の訂正(変更)は、別途手続きが必要になります。同封の「年金加入記録票」に記載いただいても訂正(変更)はできませんので、ご了承ください。

また、手続き先は、現在加入している年金制度によって異なりますのでご注意ください。

#### **被保険者**

- (1) 国民年金第1号被保険者(自営業者など)の方は、お住まいの市区町村役場の国民年金担当窓口 で手続きをお願いします
- (2) 国民年金第3号被保険者(サラリーマンの妻など)の方は、配偶者の勤務先の社会保険事務の担当の方 に手続きをお願いしてください。
- (3) 厚生年金保険・船員保険に加入している方は、勤務先の社会保険事務を担当している方または船舶所有者 に手続きをお願いしてください。

※ 受給待機者は、「年金加入記録回答票」「年金手帳(基礎年金番号通知書)」「認印」を社会保険事務所に持参していただく。

#### **共済現存被保険者**

勤務先の共済事務の担当者に手続きをお願いしてください。

#### **共済受給者・待機者**

各共済組合に手続きをお願いします。

(問18) 記録の調査にはどのくらいの期間がかかりますか。

(答)

調査の内容により異なります。早い方であれば、3～4か月でお知らせできる場合もありますが、特に複雑な調査を必要とする場合には、出来るだけ早くお送り出来ますよう努力いたしますが、長ければ1年程度の期間を要することもあります。

(問19) 「年金加入記録回答票」は、必ず提出しなければいけませんか。

(答)

※同封の用紙の色を確認する。

○同封の「年金加入記録回答票」が「白」の方

「もれ」や「誤り」がない場合には回答の必要はありません。

○同封の「年金加入記録回答票」が「水色」の方

「ねんきん定期便」は、被保険者及び受給者の皆様に、年金加入記録をご確認いただくためにお送りしております。このため、ご本人様にご確認いただいた結果として「もれ」や「誤り」がある場合には、年金加入記録を正しいものとするため「年金加入記録回答票」の返送をお願いしております。「もれ」や「誤り」がない場合にもお手数ですが、そのことの確認のため「年金加入記録回答票」の2の1に「○」を記入して（「訂正なし」として）ご返送をお願いします。

(問20)「ねんきん定期便」を汚損、毀損、紛失したので、再度送ってほしい。

(答)

再送付のお申し込みについては、このお電話で承ります。

しばらく(1～2か月)お待ちいただくことになりますが、ご了承ください。

※基礎年金番号を聴取し、本人項目を確認する。

「ねんきん特別便」の「未送達者」及び国民年金「不在者」には送付されないため、「ねんきん定期便」が送付済であること(097-1)及び「基050」(特別便情報画面)、「国050」画面の確認もすること。

(問21) 私にはこのようなお知らせは必要ないので、今後は送らないようにしてほしい。

(答)

①「ねんきん特別便」への回答の有無を確認する。

②回答済の場合 → 本人確認を行い、送付不要の理由を確認したうえで、送付停止の手続をおこなう。

未回答の場合 → 回答表の色を確認し、「白」の場合は「回答済」と同じ。「水色」の場合はお客様に「お送りした年金の記録にはもれや誤りはございませんか。」と確認したうえで、「ない」場合には本人確認を行い、また「ある」場合には本人確認と今回分について必ず回答いただくよう案内したうえで、送付不要の理由も併せて確認し、送付停止の手続を行う。

※ 本人及び家族よりの申し出により停止手続を行う。  
送付不要の理由を必ず確認すること。  
送付停止の処理票を起票する。

(問 2 2) 加入記録の記載もれがあり、「年金加入記録回答票」に書ききれない場合にはどうすればいいですか。

(答)

お手数をお掛けいたしますが、便箋等をご用意いただき加入記録を記入していただくようお願いします。

(問 2 3) 「年金加入記録回答票」に記入した内容について、何か証明するものや証拠書類のコピーなどを添付する必要がありますか。

(答)

「年金加入記録回答票」については、年金手帳などの関係する資料の添付は必要ありません。

なお、当時の年金手帳をお持ちの方は年金手帳の記号番号を「カ 年金手帳の記号番号・・・」欄に記入して下さい。

(問 2 4)「年金加入記録回答票」に氏名を書かないで投函しました。どうすればいいですか。

(答)

「年金加入記録回答票」にはご本人を確認する照会番号(12桁)が印刷されていますので、そのほかの内容に不備等がなければご返送することはありません。この照会番号によりご本人を特定し調査・確認を行いますので、ご心配はいりません。

(問 2 5)「年金加入期間回答票」に職歴を書かないで投函しました。どうすればいいですか。

(答)

(職歴を書かないで)「もれ」や「誤り」があるご回答いただいた場合には、その詳細が分かりませんので、不備の理由を書いた文書とともに返送することになります。お手元に届きましたらその部分を補正し、再送ください。



(問 2 6) 「年金加入履歴」にある加入月数については、いつ時点の月数ですか。

(答)

現在加入中のときは、「ねんきん定期便」と書かれた用紙の中ほどの基礎年金番号の上に記載されている年月日の前月までの加入月数となります。

(問 2 7) 「未納期間除く」とありますが、どこを見れば未納期間が分かりますか。

(答)

同封しております「これまでの国民年金保険料の納付状況です」をご覧ください。この用紙に「未納」と表示されています。

(問 28) 「老齢基礎年金」と「老齢厚生年金」の違いは何ですか。

(答)

老齢基礎年金は、国民年金や厚生年金保険などに加入して納めた方が受ける年金で、その期間に応じて計算されます。

老齢厚生年金は、会社にお勤めし厚生年金保険に加入していた方が受ける年金で、そのお給料の額に応じて計算されます。

(問 29) 年金は、どのように計算されているのですか。(50歳未満)

(答)

年金額は、これまで厚生年金や国民年金に加入して納めた期間に応じて計算しています。

老齢基礎年金は、厚生年金と国民年金に加入して保険料を納めた期間などを一定の計算式で算出しています。

たとえば老齢基礎年金は、20歳から60歳までのすべての期間を納めて満額となるので今年の満額の年金額である792,100円を40年(480月)で割ったものが1月分の額になります。

老齢厚生年金は、厚生年金に加入していたときの給与額と期間の長さに応じて計算されます。具体的には給与額については、その当時の報酬額を現在の価値に換算したうえで総額の平均を出します。そのうえで生年月日に応じた一定の率と加入月数をかけて算出します。

※ 問87参照

(問 3 0) ここに表示されている年金額は、将来必ず受け取ることができる金額なのですか。

(答)

記載されている見込額は、現在の年金制度に継続して加入し、保険料を同じように納めた場合を想定して算出しているものですので、今後の制度改革やご自身の加入状況の変化など種々の要因により変化します。あくまでも、目安として参考にしていただければと思います。

(問 3 1) ここに記載されている年金は、何歳から受給できるのですか。

(答)

お示ししている年金額は、老齢年金を受給するために必要な年金加入期間にかかわらず、現時点での加入実績に応じて計算を行っているものです。

今後の加入実績が増えることによって、将来受給できる実際の年金額は増額します。このため（何歳から受け取れるといった）年金見込額ではありませんのでご了承ください。

年金を受けるために必要な加入期間を満たした方は、生年月日に応じて60歳～65歳の間に年金を受け始めることができます。

（原則として300月以上の保険料納付済期間等が必要です。）

(問 3 2) ここに記載されている年金額が正しいのか自分で計算したいので、  
詳細な計算内訳を送ってもらえないでしょうか。

(答)

大変申し訳ございませんがコンピューターで計算している関係でこちらで手  
作業による詳細内訳をお受けすることができません。

お受け取りになる年齢に近づけば、実際の年金額により近い金額でご案内  
できますので、その際にご確認ください。

表示されている年金額については、一括処理により計算結果を出力してい  
るため、計算の経過(計算式)がないため、詳細な計算内訳を送付するこ  
とが出来ません。

(問 3 3) 「ねんきん定期便」が届きましたが、「老齢年金の見込額」に記  
載がありません。なぜですか。どうしたら分かりますか。

(答)

「ねんきん定期便」では、現時点で老齢年金を受けるための資格期間を満  
たしている50歳以上の方に、見込額をお知らせしています。

お送りしている「年金加入履歴」だけで資格期間(原則として25年、  
300月)を満たしていない場合には、年金額を計算することができませ  
ん。他に共済期間や、合算対象期間などがあれば社会保険事務所で見込額  
を計算することができます。その場合、書類等が必要となることがありま  
すので、社会保険事務所にお問い合わせいただきますようお願いいたしま  
す。

(問 3 4) 国民年金の保険料はどのように計算しているのですか。

(答)

国民年金の保険料額については、その当時の保険料額で算出しています。  
ただし、コンピューター管理になる以前の前納期間については、割引後の金額ではなく定額保険料で計算しています。

1. 特例納付記録がある場合、特例納付の保険料額に納付月数を乗じています。

(例) 特例納付 18 条分 3 か月納付 →  $900 \times 3 = 2,700$  (円)

特例納付 4 条分 2 か月納付 →  $4,000 \times 2 = 8,000$  (円)

2. 沖縄特例期間がある場合、沖縄特例の保険料額に基づいています。

(例) 昭和 47 年 4 月 253 円 / 1 月

3. 沖縄特別措置追納期間を有する場合、1 か月当たり 2,400 円の追納保険料として算出しています。

(問 3 5) 国民年金の累計額には付加保険料を含んでいますか。

(答)

付加保険料は含んでいます。

(問 3 6) 国民年金の累計額は、前納した保険料は割引後の金額で計算されているのですか

(答)

前納保険料は、割引後の金額で算出しています。

(問 3 7) 国民年金の累計額は、追納した割増後の金額で計算されていますか。

(答)

免除期間を追納する際に加算金を含めてお支払いいただいた分は、納めていただいた金額で計算しています。

ただし、記録上で納めていただいた日付が確認できない場合は、定額分の保険料として算出します。

(問 3 8) 厚生年金保険の保険料は、どのように計算されているのですか。

(答)

厚生年金の保険料は、各月の標準報酬月額及び標準賞与額に保険料率をかけて、被保険者負担分の保険料納付額を各月毎に計算します。ねんきん定期便では、保険料納付額と賞与保険料納付額を合算した額を表示します。

(問 3 9) 記載されている厚生年金保険の保険料には、事業主負担分も含まれているのですか。

(答)

ねんきん定期便の「これまでの保険料納付額」には、被保険者負担分保険料(毎月の給与から控除されている厚生年金保険料)の額を記載しています。事業主分は含まれておりません。

《参考》

算定式

①保険料納付額

標準報酬月額 × (保険料率 - 免除保険料率) × 本人負担割合  
× 育児休業保険料免除率

②賞与保険料納付額

標準賞与額 × (保険料率 - 免除保険料率) × 本人負担割合  
× 育児休業保険料免除率

「本人負担割合」は、第四種、年金任意(船保)、高齢任意加入は「1」、  
それ以外は「1/2」とする。

「育児休業保険料免除率」は、該当者は「0」、被該当者は「1」とする。

(問 4 0) 厚生年金保険の第四種被保険者（または高齢任意加入被保険者）の保険料は、全額本人負担分として計算しているのですか。

(答)

全額本人負担分として計算しています。

(問 4 1) 厚生年金保険料の計算過程で、1 円未満の端数が生じている場合、どのようになっているのですか。

(答)

各月毎に1円未満の端数を切り捨てます。賞与保険料を納付した月については、保険料納付額と賞与保険料納付額を合算した後に1円未満の端数を切り捨てます。

【根拠法令】

- 厚生年金保険法 第82条第1項 第84条第1項
- 通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律 第3条第1項
- 国等の債権債務等の金額の端数計算に関する法律 第2条第2項



(問 4 2) 厚生年金保険の保険料はボーナスからも徴収されていますが、それもこの金額の中に含まれているのですか。

(答)

平成15年4月から、厚生年金保険料は、賞与についても毎月の保険料と同率の保険料を納めていただくことになりました。したがって、「ねんきん定期便」の「これまでの保険料納付額」には、平成15年4月からの賞与額にかかる保険料も含めて記載しています。

なお、賞与の保険料額は、各被保険者に実際に支払われた賞与の額から1,000円未満の端数を切り捨てた「標準賞与額」に基づいて決められます。

(問 4 3) 平成15年以前もボーナスから保険料を徴収されていたと思いますが、それは何故含まれてないのですか。

(答)

厚生年金の計算の基礎に賞与が含まれるようになったのは、平成15年4月の総報酬制の導入からですが、それ以前は「特別保険料」として、年金財源の一部をご負担いただいております。

平成15年3月以前に支払われた賞与に基づく保険料徴収は、

- ① 保険料徴収対象を拡大し、月収に係る保険料を抑制する
- ② 月収を抑えて賞与を増額し、保険料負担を免れるという現象を回避する

という観点から行われていたものであり、毎月の保険料額を軽減するために負担いただいていたものです。納めていただいた保険料については、皆様の年金の給付財源となっていました。

したがって、平成15年3月以前に支払われた賞与から徴収された保険料については、厚生年金の年金額計算の基礎とはならないため、ねんきん定期便に記載されている「これまでの保険料納付額」には含まれておりません。

(問 4 4) ここに表示されている保険料額が正しいか計算したいので、詳細な計算内訳を送ってもらえないでしょうか。

(答)

表示されている保険料額については、コンピューターで一括処理により計算結果を出力しているため、申し訳ございませんが、詳細な計算内訳の送付のご依頼はお受けできません。

※ 計算の基となる保険料額表は送付可。

(問 4 5) (空いている期間があります。) と記載されていますが、これは何ですか。どうすればいいのですか。

(答)

この間は、年金制度に加入されていない期間である、ということで表示をしています。共済組合等に参加されている場合もこのように表示されています。

この欄の上下を見てください、その間に年金制度に加入されていなかったかをご確認ください。加入されていた場合には加入記録の「もれ」の可能性がありますので、同封の「年金加入記録回答票」にご記入のうえ、ご返送ください。

(問 4 6) ③欄に「厚生年金保険」「船員保険」と表示されています。何故ですか。また、何か手続きが必要でしょうか。

(答)

厚生年金保険、船員保険の加入記録のうち、事業所名や船舶所有者名が正しく登録されていない場合があります。

このような場合、「年金加入履歴」の「③お勤め先の名称等」欄に、お勤め先の名称に代えて「厚生年金保険」、「船員保険」と制度の名称を記載しています。

ご心配をおかけして申し訳ありませんが、お勤め先の名称が「厚生年金保険」、「船員保険」と記載されていても、年金の給付には特に問題はありませんのでご安心ください。

この記載以外の箇所に訂正がなければ、「年金加入記録回答票」を返送していただく必要はありません。この記載以外の箇所に訂正があれば、「年金加入記録回答票」にその訂正内容及びその他の必要事項を記入していただき、社会保険業務センターにご返送ください。

(問 4 7) 「年金加入履歴」で加入制度が厚生年金保険または船員保険であるもののうち、「③お勤め先の名称等」欄に記載されている事業所名または船舶所有者名がひと文字抜けています。何故ですか。

(答)

特殊な文字を使用している事業所名または船舶所有者名については、その文字がスペースで出力される場合があります。

加入制度と印字されていない文字を除いた事業所名等は、ご記憶のとおりでしょうか。

「もれ」や「誤り」があれば「年金加入記録回答票」にその訂正内容及びその他の必要事項をご記入いただきご返送ください。

「もれ」や「訂正」がなければ、

○同封の「年金加入記録回答票」が「白」の方

「もれ」や「誤り」がない場合には回答の必要はありません。

○同封の「年金加入記録回答票」が「水色」の方

「もれ」や「誤り」がない場合にもお手数ですが、回答票の2の1に「○」を記入して（「訂正なし」として）ご返送ください。

(問 4 8) 同じ会社に入退社しましたが、「お勤め先の名称等」欄に記載されている事業所名の表記が違います。なぜですか。

(答)

お勤めしていた会社が名称変更されている場合は、それぞれの退職時の会社名で表示されます。

そのため、同じ会社にお勤めされても記載されている会社名が違っていることがあります。

(問 4 9) 表示されている勤め先の名称が違います。なぜですか。

(答)

加入制度は、ご記憶のとおりでしょうか。ご記憶のとおりであれば、事業所ごとの名称変更履歴を管理する仕組みの登録誤りと思われます。加入制度、加入期間が一致しているかどうかで記録の訂正の有無をご確認ください。

「もれ」や「誤り」があれば「年金加入記録回答票」にその訂正内容及びその他の必要事項をご記入いただきご返送ください。

「もれ」や「訂正」がなければ、

○同封の「年金加入記録回答票」が「白」の方

「もれ」や「誤り」がない場合には回答の必要はありません。

○同封の「年金加入記録回答票」が「水色」の方

「もれ」や「誤り」がない場合にもお手数ですが、回答票の2の1に「○」を記入して（「訂正なし」として）ご返送ください。

(問 5 0) ④資格を取得した年月日に「#」の表示がありますが、この表示は何ですか。

(答)

「#」の付いている行の「⑤資格を失った年月日」と次の行の「④資格を取得した年月日」をご確認いただけますでしょうか。（その年月日が重なっていると「#」が付いている。）

「#」の表示がある年金加入記録は期間が重複していることを表しています。この重複している期間については、保険料の重複払いや記録・各種事務手続のミスのほか、古い時代における制度間の取扱いの違いなどから生じています。記録整備が必要となりますので、恐れ入りますが、同封の「年金加入記録回答票」を必ず提出していただきますようお願いいたします。

また、記載された加入記録に「もれ」や「誤り」がある場合には、「年金加入記録回答票」の2（あるいは3）に職歴等を併せて記入していただくようお願いいたします。

○同封の「年金加入記録回答票」が「白」の方・・・2

○同封の「年金加入記録回答票」が「水色」の方・・・3

(問 5 1) 加入記録が重複していることがわかっているのだから、最初から補正して送ってくるべきではないか。

(答)

「ねんきん定期便」は、お客様の年金加入記録についてご確認いただくとともに、年金制度に対してご理解を深めていただくことを目的としております。そのため、記載された記録にもれがないか、誤りがないかの二つの観点でお客様ご自身にご確認いただく必要があります。加入期間にもれがなく、加入記録の重複のみのお客様には、大変お手数をおかけして申し訳ありませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

(問 5 2) 厚生年金基金に加入していましたが、「年金加入履歴」に基金加入期間が記載されていません。どうしてですか。

(答)

厚生年金基金の加入期間については、基金が国の老齢厚生年金の一部を代行して給付することになっており、その加入期間は再掲で表示しています。基金がこの代行部分を国に返上（「代行返上」といいます。）している場合には、記載されていません。

※ 代行返上とは、厚生年金基金が国に代わって行う給付を国に返上することです。

(問 5 3) 代行返上しているはずだが、厚生年金基金加入期間が表示されている。どうしてですか。

(答)

代行返上に係る事務処理が厚生年金基金と社会保険業務センターの間で完了していないことが考えられます。代行返上の時期は加入されていた厚生年金基金にご確認いただきますようお願いいたします。

(問 5 4) 国民年金基金に加入していましたが、「年金加入履歴」に基金加入期間が記載されていません。どうしてですか。

(答)

「年金加入履歴」は、国民年金の加入記録を記載しており、国民年金の上乗せ制度である国民年金基金の加入記録は含まれておりません。

なお、国民年金基金の加入記録についてのご確認は、その当時加入していた国民年金基金にご照会いただきますようお願いいたします。

(問 5 5) 第 3 号被保険者の年収基準が 1 3 0 万円になったのはいつからですか。

(答)

第 3 号被保険者において、認定対象者の年収基準が 1 3 0 万円未満（障害者の方は、1 8 0 万円未満）となったのは、平成 5 年 4 月からです。

(問 5 6) 備考欄に「脱退手当金」の表示があるのですが、これは何ですか。

(答)

「脱退手当金」の表示があった場合は、過去に「脱退手当金」の支給を受けており、その支給のもとになった期間を表します。「脱退手当金」を受けた期間は、年金額の計算には含まれません。

※ 脱退手当金とは

昭和 6 1 年 3 月以前の厚生年金保険法では、昭和 1 6 年 4 月 1 日以前に生まれた方で、6 0 歳以降に年金を受けることができない方や、昭和 5 3 年 5 月以前に会社を退職した女性が受けることができた一時金です。



(問57) ⑦国民年金欄の納付済等月数の「計」と⑥「加入月数」の国民年金を足した月数が相違していますが、どうしてですか。

(答)

「⑦国民年金」の「計」には、お客様が保険料を納付した月数や、免除を受けた月数の計が記載されています。また⑥「加入月数」には、お客様が国民年金に加入していた月数が記載されています。

《加入月数の合計＞計の場合》

「加入月数」は、国民年金に加入した月から被保険者でなくなった月の前月までの月数です。(現在加入中の場合は、お知らせの作成された前月までの期間となっています。) この間に保険料の未納がある場合は、その月数を含んでいます。

そのため、⑦国民年金欄の「納付済月数」～「第3号月数」までの「計」(納付済等月数計) に比べて「加入月数」の計が多い場合は、国民年金の加入期間の中に保険料の未納期間があることになります。

《加入月数の合計＜計の場合》

「加入月数」は、国民年金に加入した月から被保険者でなくなった月の前月までの月数です。(現在加入中の場合は、お知らせの作成された前月までの期間となっています。) 一方、「納付済月数」～「第3号月数」については、現時点で保険料を納付されていることが確認できている期間について表示しています。保険料を年度末まで前納されている場合は、年度末まで納付済として記載されています。そのため、「計」の方が多く表示されています。

(問 5 8) 最近、国民年金の加入手続きを行いました。年金加入記録に  
表示されていません。どうしてですか。

(答)

「ねんきん定期便」でお知らせする年金加入記録は、作成年月日の前日ま  
でに処理されている情報を基に表示されます。(また、現在加入中のときは、  
この作成年月日の前月までの加入月数となります。)

(問 5 9) 国民年金に加入していた途中で、転居しています。その場合、  
どのように記載されますか。

(答)

途中で転居された場合で、ずっと国民年金に加入の方は、分けて記載せず  
一つ(一段)になっています。

すでに国民年金の記録が「喪失」となっている方は、先の住所での資格取得  
年月日と後の住所で資格喪失年月日になります。

現在加入中の方は、転居前の住所地から引き続き加入中であることから、  
喪失年月日の欄は空欄、月数はお知らせ作成日の前月までの月数を記載して  
います。

(問 60) 第三者委員会へ申し立てをしています、「ねんきん定期便」が届きました。どうしたらいいですか。

(答)

すでに第三者委員会への申立をされている期間については、今回ご回答いただく必要はありません。それ以外の期間について、「もれ」や「誤り」がないかご確認ください。

(問 61) 昔勤務していた会社の名前や期間等を、はっきり覚えていないのですが、「年金加入記録回答票」には、どのように記入したらいいですか。

(答)

「イ 加入制度」は「厚」の文字を○で囲みます。「ウ お勤め先の名称」は、会社名(フリガナ)を記入して下さい。「エ お勤め先の所在地・・・」「オ 勤務期間…」は、できるだけ詳しく記入して下さい。ただし、詳しく分からない場合は屋号や会社通称名・市区町村名・おおよその年代や季節までも結構です。

なお、基礎年金番号とは別の年金手帳又は厚生年金保険被保険者証がある場合は、その記号番号を「カ 年金手帳の記号番号・・・」に記入して下さい。

また、旧姓及び旧氏名をお持ちの場合にも、「カ 年金手帳の記号番号 当時の旧氏名」欄に旧姓(フリガナ)及び旧氏名(フリガナ)を記入して下さい。

(問 6 2) 記載されている記録と、自分が記憶している勤務期間等が相違しているが、どうしたらいいですか。

(答)

「年金加入記録照会票」の「ア 該当番号」欄に、「年金加入履歴」に記載されている、勤務期間が相違している会社について記載している行の「番号」と同じ番号を記入してください。

「オ 勤務期間又は国民年金加入期間」の欄には、ご自分が記憶されている勤務期間をご記入ください。

お申し出の会社名、加入期間等について社会保険業務センター等で調査し、その結果を改めてお知らせいたします。調査には相当の期間がかかることもありますので、あらかじめご了承ください。

(問 6 3) 標準報酬月額は、いつどのように決まるのですか。  
(算定基礎及び月額変更)

(答)

厚生年金保険では、被保険者の給料額を区切りのよい幅で区分した報酬月額にあてはめ、毎月の保険料などを計算します。

この標準報酬月額は、まず入社したときに決定され、その後は年に1回見直しをします。また、昇給等で実際の報酬に大幅な変動があったときにも改定がされます。

これら、被保険者の標準報酬月額については、事業主に届出の義務があり、入社した時や給料の変更時に社会保険事務所に届出いただくことになっています。

標準報酬月額とは、厚生年金保険の保険料を算定する基準額のこととで、現在は30等級に分かれている。原則、毎年4～6月に支払われる給料（通勤費なども含む）の平均額を等級に当てはめる。ただし、下限・上限がある（現在は9万8千円～62万円）。例えば9万円の報酬の場合には、98千円を基に計算し、逆に100万円の場合であっても62万円で計算する。

(問 6 4) 標準報酬月額の対象となる報酬に、通勤手当が含まれるのはおかしいのではないですか。

(答)

厚生年金保険法でいう報酬とは、被保険者が事業主から労務の対償として受けるすべてのものをいい、賃金、給料、手当などその名称にかかわらず対象になります。従って、事業所の給与規定に定めのある通勤手当や宿直手当などについても、労務の対償として受けるものであると認められ、標準報酬月額の対象となる報酬に含まれます。

(問 6 5) 会社に勤め始めたときの標準報酬は、どのように決まるのですか。  
(取得時報酬)

(答)

会社に勤め始めたときの報酬月額、被保険者が基本給や残業手当などの報酬として受け取るであろう額を、報酬月額として事業主が社会保険事務所へ届け出ることにより決定します。

(問 6 6) 給与体系が歩合制で、毎月の収入が一定ではなかったのですが、標準報酬はそれに連動して変わらないのですか。

(答)

標準報酬月額の改定は、固定的賃金に変更があった際に行います。ただし、変更を生じた月から継続して3ヶ月間に受けた報酬の平均額による標準報酬月額が、現在の標準報酬月額と比較して2等級以上の差が生じた場合に、報酬の変動があった月の4ヶ月目から標準報酬月額の改定を行うものです。

従って、給与体系が歩合制で毎月の収入が一定しない場合や、残業手当が極端に増減したなどの理由では標準報酬月額を改定することはできません。

(問 6 7) 給与体系がいわゆる「日給月給」で出勤した日数に応じて給与が支払われていましたが、標準報酬はそれに連動して変わらないのですか。

(答)

標準報酬月額の変動は、固定的賃金の変動があった時に限られます。「日給月給」の場合は一月に受けるであろう給与額を標準報酬として届けていただいていることから出勤日数により支払われる報酬に増減があっても改定の対象になりません。

(問 6 8) 納付額には「事業主負担分」も含んでいるのでしょうか。

(答)

今回お示ししている保険料納付額は、被保険者本人が負担された額のみを記載しております。なお、事業主が負担する保険料額は、原則、被保険者負担額と同額です。

(問 69) 過去の標準報酬(等級表)や保険料率の経緯について知りたいのですが、どのように調べればよいのでしょうか。

(答)

過去の標準報酬(等級表)や保険料率の変遷については、社会保険庁のホームページに掲載しておりますので、ご利用ください。

HP→社会保険制度→年金保険→6. もっと詳しく年金制度を知りたい方へ  
・厚生年金保険のあらまし→第4節 保険料

※ 保険料率表の送付可。

(問 70) 月別状況の欄外に「※旧3公社共済組合(JR, JT, NTT)及び農林共済組合の統合日以前の保険料納付額はハイフン(-)で表示されます。」とありますが、統合日はいつですか。また、なぜ納付額がハイフンで表示されるのですか。

(答)

旧3公社共済組合(JR, JT, NTT)が厚生年金に統合されたのは、平成9年4月1日で、農林共済組合は平成14年4月1日です。

統合日以降の保険料納付額については、社会保険庁で管理していますが旧3公社共済組合(JR, JT, NTT)及び農林共済組合の統合日以前の納付額データは、社会保険庁が提供を受けていないために表示することができません。ご了承ください。



(問 7 1) 共済の 6 1 年 3 月以前の月額が同じ額で記載されているのはなぜですか。

(答)

昭和 6 1 年 3 月以前の三共済の期間にかかる標準報酬月額については、共済組合からすべての期間をまとめた額で情報提供を受けています。

そのため、三共済の 6 1 年 3 月以前の期間については、各共済組合での過去の報酬をもとに計算した額を記載しています。したがってこの間の標準報酬月額については、その当時の報酬額とは異なることがあります。

(問 7 2) 月別状況に記載されている標準報酬より、もっと多い給与が支払われていましたが間違いではないでしょうか。  
(標準報酬の上限)

(答)

厚生年金保険の標準報酬月額には上限がありますので、実際の報酬額がこれを超える金額の場合であっても、標準報酬月額は上限額として登録されています。

※ 上限額表（標準報酬月額等級表）により、その当時の報酬上限について回答。

(問 7 3) 月別状況に記載されている標準報酬より、もっと少ない給与が支払われていましたが間違いではないでしょうか。  
(標準報酬の下限)

(答)

標準報酬については、基本給の他に各種手当や交通費などを含んだ総額で決定しています。実際に受け取る給与額は、税金や社会保険料などの各種控除を受けたあとであるため、標準報酬の額のほうが受け取っていた額より高くなります。

※ 下限額表（標準報酬月額等級表）により、その当時の報酬下限について回答。

(問 7 4) 標準報酬月額が 98,000 円と記載されているが実際は 5 万円ぐらいしかもらっていない。なぜ違うのか（標準報酬の下限）

(答)

厚生年金保険の標準報酬月額には下限がありますので、実際の報酬額がこれを下回る金額の場合であっても、標準報酬月額は下限額として登録されています。

(問 7 5) 当時の実際の報酬と大幅に相違する場合に回答票を返送することになっていますが、当時、給料をいくら支払われていたか記憶にありません。どうすればいいでしょうか。

(答)

報酬額のご記憶が無い場合は、当時お勤めの事業所等へご確認いただきますよう、ご協力をお願いします。また、事業所等で確認が出来ない場合は、ご自身のご記憶で不審に思われる点を、回答票に書いていただき送ってください。社会保険事務所で調査を行い回答いたします。

(問 7 6) 当時の実際の報酬と大幅に相違する場合に回答票を返送することになっていますが、「大幅」とはどの程度のことを言うのでしょうか。

(答)

ご自身の当時の給与額と記載されている標準報酬月額を照らし合わせ、ご確認をいただくことになりますが、大幅な差であるかどうかについては、総合的にご判断いただきますようお願いいたします。

(問77) 昭和35年10月取得となっているのに、国民年金の納付記録が昭和36年4月からしかないのはなぜですか。

(答)

国民年金制度が始まる時は、たくさんの方の加入手続きを行うために準備期間を設けていました。

加入手続きは昭和35年10月1日から始まり、保険料の支払は、昭和36年4月から開始しましたので昭和35年10月から昭和36年3月までは、保険料を納める必要のない被保険者であったために納付記録がありません。

(問78) 過去の保険料額や前納額の経緯について教えてください。  
(どのように調べればいいのでしょうか。)

(答)

過去の国民年金の定額保険料額については、社会保険庁のホームページに掲載しておりますので、ご利用ください。

HP→社会保険制度→年金保険→6. もっと詳しく年金制度を知りたい方へ・  
国民年金のあらまし→第4節国民年金の財政・財源(保険料・基礎年金拠出金・国庫負担)

なお、前納額につきましては、最寄りの社会保険事務所にお尋ねください。

(問 79) 老齢基礎年金の見込額の計算で、「今後、60歳までの期間(月数)を記入」とありますが、いつからいつまでの月数を書けばいいのですか。

(答)

「ねんきん定期便」に記載されている作成月から、60歳になられる月の前月までの間の月数をご記入願います。

例えば、基礎年金番号の上に「このねんきん定期便は平成21年4月15日時点の記録に基づき作成されております。」と記載されていれば平成21年4月から、60歳になられる月の前月までの間の月数となります。

(問 80) 老齢基礎年金の見込額の計算で、「今後納付する付加保険料月数を記入」とありますが、いつからいつまでの月数を書けばいいのですか。

(答)

「ねんきん定期便」に記載されている作成月から60歳になられる月の前月までの間に、ご自身が納付する予定の月数をご記入願います。

例えば、基礎年金番号の上に「このねんきん定期便は平成21年4月15日時点の記録に基づき作成されております。」と記載されていれば、平成21年4月から60歳になられる月の前月までの間の月数を最大として、そのうち納付を予定している月数となります。

(問 8 1) 今までの共済組合員期間が書かれていないのに、月数を書かせるのは不親切ではないですか。

(答)

共済期間については、全ての共済期間の情報提供を受け記録を整備するため、確認の作業を進めていることから記載しておりません。お手数ですがお手元の「ねんきん特別便」や「共済特別便」等で共済期間をご確認のうえ試算いただくようお願いします。

(問 8 2) 国民年金基金に加入している分については、試算できないのでしょうか。

(答)

国民年金基金に加入している期間においても国が支払う年金は老齢基礎年金の部分のみで、上乗せ部分である国民年金基金の年金の額は、ご本人様の加入の仕方により掛金が異なります。そのため、こちらでは試算ができません。国民年金基金の年金額等のご確認は、その当時加入していた国民年金基金にご照会ください。

(問 8 3) これまでの加入実績に応じた年金額の試算が、平成 1 5 年 4 月で分けられているのはなぜですか。

(答)

平成 1 5 年 4 月から、厚生年金保険料は毎月の給与や賞与の額に応じて納めることとなり（総報酬制度の導入（年金額の決定をする際に、月給額だけでなく、月給額と賞与額を合わせた額を反映させる制度。）、平成 1 5 年 4 月以後に支払われた賞与から支払った保険料は、年金額に反映されることになりました。実際の年金額の計算において、平成 1 5 年 3 月以前の額と平成 1 5 年 4 月以後の額を分けて算出しています。

したがって、ねんきん定期便の「これまでの加入実績に応じた年金額」を試算する場合の計算式も実際の年金額の計算式と同様に、平成 1 5 年 3 月以前と平成 1 5 年 4 月以後を分けて記載しています。

(問 8 4) 「今後、退職時までの間の平均の所得見込み額」は実際想像もつかないのですが、どんな金額を書けばいいのでしょうか。例えば、昨年の年収で書けばいいのですか。

(答)

今後の給与の額を算定することは難しいことから、あくまでも予定額としてご本人様が推測する金額を使い計算をお願いします。

なお、試算をされる際の月給額は、標準報酬月額範囲内（98,000 円～620,000 円、賞与は 1 回 150 万円）で計算ください。

(問 8 5) 「今後、退職時まで勤務される期間(月数)」は何を目途にすればいいのでしょうか。例えば、65歳までの月数でしょうか。いつからいつまでの月数を書けばいいのでしょうか。

(答)

退職される時期というものは、それぞれの方によって異なりますので、一概には言い切れませんが、お勤めの会社等の定年年齢などといったイメージでお考えいただければと思います。

たとえば、65歳到達後の3月末までお勤めされるのであれば、「ねんきん定期便」の作成年月日の月から65歳到達後の3月までの月数をご記入ください。

(問 8 6) 「生年月日に応じた給付乗率」とは何ですか。生まれた年によって年金の計算に有利・不利があるのでしょうか。

(答)

「生年月日に応じた給付乗率」は老齢厚生年金(報酬比例部分)等の年金額の計算に用いる乗率で、生年月日に応じて原則1,000分の7.125～1,000分の9.5(平成15年3月以前の被保険者期間)の範囲で定められています。

なお、この乗率が生年月日に応じて違うのは、法律改正により急激な年金額の変動が生じないようにとられた措置であり、昭和21年4月2日以後生まれの方は一律1,000分の7.125とされています。



(問 8 7) 「平均の標準報酬月額」が印刷されていますが、これはどのように計算されているのでしょうか。

(答)

平均標準報酬月額は、「被保険者であった期間の標準報酬月額の合計」を「被保険者であった期間の月数」で割った額で、年金額の計算の基礎となるものです。

なお、平均標準報酬月額の算出に当たっては、過去の標準報酬月額については、現在の価値に換算するため、実際の標準報酬月額に再評価率をかけて計算しています。

※ 「再評価率」については、ホームページ掲載。

(問 8 8) 厚生年金基金に加入している分について、計算できないのでしょうか。

(答)

厚生年金基金に加入している分については、それぞれの基金が国から預かっている報酬比例分に上乗せ分をあわせて支払うため、基金により計算が異なります。そのため、こちらでは試算ができません。厚生年金基金の年金額等のご確認は、その当時加入していた厚生年金基金、もしくは企業年金連合会にご照会ください。

(問 8 9) 試算した年金見込額は、間違いなく支払われるのでしょうか。

(答)

試算の結果算出された年金額は、現在の年金制度に継続して加入し、保険料を同じように納めた場合を想定して算出しているものですので、今後の制度改正やご自身の加入状況の変化など、種々の要因により変化します。あくまでも、目安として参考にいただければと思います。

(問 9 0) 「ねんきん定期便」とは別のものが同封されていますが、これは何なのでしょう。

(答) (お客様に同封されているものを確認)

① 「ねんきん特別便のご回答のお願い」のみが同封されている方

現在までに「ねんきん特別便」のご回答を確認できていない方にお送りさせていただいております。既に回答がお済みで、行き違いの場合には、何卒ご容赦願います。

もし、まだご回答いただけていないようでしたら、今回お送りいたしました「ねんきん定期便」の加入記録をご確認いただき、必ずご回答いただけますようお願いいたします。今回ご回答いただきましたら、この回答で「ねんきん特別便」への回答と見なしますので、別途「ねんきん特別便」への回答は必要ございません。

② 「ねんきん特別便のご回答のお願い」及び「あなた様の年金加入記録に結び付く可能性のある記録のお知らせ」が同封されている方

「ねんきん特別便」を送付する際に社会保険庁が行った名寄せ作業によって得られた記録が、ご本人の記録である可能性の高い方のうち、まだご回答が確認できていない方にお送りさせていただいております。既に回答がお済みで、行き違いの場合には、何卒ご容赦願います。

もし、まだご回答いただけていないようでしたら、今回お送りいたしました「ねんきん定期便」の加入記録をご確認いただき、必ずご回答いただけますようお願いいたします。今回ご回答いただきましたら、この回答で「ねんきん特別便」への回答と見なしますので、別途「ねんきん特別便」への回答は必要ございません。

③「あなた様の年金加入記録に結び付く可能性のある記録のお知らせ」のみが同封されている方

「ねんきん特別便」を送付する際に社会保険庁が行った名寄せ作業によって得られた記録が、ご本人の記録である可能性の高い方のうち、「訂正なし」と回答をいただいている方にお送りさせていただいております。

「訂正なし」として既にご回答をいただいておりますが、今回、名寄せ作業の結果得られた記録の一部をお示しさせていただきますので、念のために今一度ご確認をお願いいたします。なお、ご確認いただいた結果「ご自分の記録ではない。」場合には、ご回答の必要はございません。

④「標準報酬月額を確認していただきたい旨の文書」のみが同封されている方

あなたの標準報酬月額の記録の中に、「注意を要する記録」が含まれておりますので、入念にご確認いただきますようお願いいたします。

なお、「注意を要する記録」とは、

- ◆ 標準報酬月額の引き下げ処理と同日もしくは翌日に資格喪失処理が行われている
  - ◆ 標準報酬月額が遡及して5等級以上引き下げられている
  - ◆ 6ヶ月以上遡及して記録（標準報酬月額）が訂正されている
- といったものです。

⑤「標準報酬月額を確認していただきたい旨の文書」及び上記①～③の文書が同封されている方

※対象となる①～③の内容について説明後、④の内容についても説明する。

(問 9 1) 視覚障害者のため、「ねんきん定期便」を送ってもらっても読めません。基礎年金番号が分からないのですが、電話で記録の確認ができますか。

(答)

大変申し訳ありませんが、基礎年金番号はご本人を確認する上で最も重要な項目であることから、電話での個別具体的な回答は、個人情報保護の観点から控えさせていただいております。ご理解いただきますようお願いいたします。

お客様の記録に基づくご相談に関しましては、お手数ですが社会保険事務所で確認のお手伝いをさせていただきますので、ご来所いただけないでしょうか。あるいはご家族の方にお手伝いいただけないでしょうか。

(問 9 2) 当施設に入所している方に、「ねんきん定期便」が届いた。本人は確認できる状況ではないがどうしたらよいか。(老人介護施設などの職員、ホームヘルパーなどからの照会の場合)

(答) (介護者など照会者の方が)

ご自身による年金記録の確認が困難と判断される場合には、ご家族、身元引受人や後見人の方に「ねんきん定期便」が届いたことをご連絡いただき、ご家族等のご意向をご確認いただけないでしょうか。

施設・療養機関に入所している方で、ご家族等による相談が困難な場合は、職員の方が、ご本人に代わって確認いただくことができます。

その際は、お手数ですが身分証明書とご本人様が施設等に入所していること等が確認できるものをご持参の上、社会保険事務所に ご来所ください。

(問 9 3) 聴覚障害者のため、本人が電話することができません。どうしたらいいですか。

(答)

「ねんきん定期便」の見方や書き方に関するご照会については、どなたからのご照会であっても、この電話でお答えすることができます。

《個人情報の回答が必要な場合》

大変申し訳ありませんが、個人情報保護の観点から、お客様ご自身の記録に関することは、ご本人さま又は配偶者の方と確認できる場合に限りさせていただきます。

しかしながら、聴覚に障害をお持ちの方の場合には、お電話での相談ができないことから、ファクシミリによる相談をお受けしております。ファクシミリによる相談をご利用いただく場合には、個人情報に関する回答が必要な場合は、文書により回答することになりますのでご了承ください。

また、社会保険事務所等の来訪相談においては、筆談等で対応させていただきますのでご利用ください。

\* 社会保険事務所に来訪されたときは、筆談など必要なサポートを行うこと。

\* ファクシミリによる相談受付窓口

- 全国社会保険事務所又は社会保険業務センター中央年金相談室  
お近くの社会保険事務所等のファクシミリ番号を案内します。

(問 9 4) 専用ダイヤルの電話料金は、なぜ無料にしないのですか。  
(なぜ、フリーダイヤルでないのですか。)

(答)

フリーダイヤル（無料）にした場合には、一般的に通話時間が長くなる  
ことが考えられます。その結果、電話をかけようとする他の方々にご不便をお  
かけする心配があります。そのため、申し訳ありませんが電話料金の一部の  
ご負担をお願いしております。

(問 9 5) 相談対応されているあなたは、どんな立場か。(身分はなにか。)

(答)

ねんきん定期便専用ダイヤル担当の相談員です。

(問 9 6) 社会保険庁の職員なのか

(答)

社会保険庁から電話相談業務の委託を受けた民間事業者の社員です。

(問 9 7) なんという会社か。(事業所名称)

(答)

(所属している会社名を回答してください。)

(問 98) 正規の職員でないものが、社会保険庁が保有する個人情報を取り扱い、年金相談にあたることは、個人情報の保護が守られない。そんな立場の者に私の個人記録を参照する権利があるのか。

(答)

相談業務に従事するにあたり、就業期間中、退職後においても業務上知りえた情報は、守秘義務が課せられており、これに反したときには相応の処分を受けることとなります。仮に守秘義務違反をおかした場合には損害賠償の対象となります。

年金相談業務に従事するにあたり、私自身もお客さまの生活の支柱である年金情報を取り扱うことに対して、慎重、十分な配慮をもって対応させていただく姿勢であります。

また、事前の研修時、業務実施期間中においても、随時守秘義務の遵守状況がチェックされておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。